

2 県産農林水産物のさらなる需要拡大

- ① デジタル技術等を活用した地産・地消の取組強化
- ② 大都市圏等への戦略的な販路開拓・拡大

新

やまぐちのお米ぶち食べちゃろう事業〔ぶちうまやまぐち推進課〕

(640,000千円)

事業のポイント

物価高騰が著しい米において、家計負担の軽減を図りつつ、山口県産米の県内需要を喚起し、継続的な販売拡大及び生産振興につなげるため、県産米増量キャンペーンを実施します。

【事業概要】

▽ ぶち得！！プラスワン購入支援キャンペーン

- ・家計の負担軽減につながる支援を行うとともに山口県産米の継続的な販売を促進

[内容] 5kg袋に1kgの増量サービス

[時期] 令和8年5～12月（予定）

[対象] 60万袋

- ・SNS等を活用した山口県産米の販売促進・宣伝広告



2 県産農林水産物のさらなる需要拡大

- ① デジタル技術等を活用した地産・地消の取組強化
- ② 大都市圏等への戦略的な販路開拓・拡大

○ ぶちうま！維新推進事業〔ぶちうまやまぐち推進課〕

(24,908千円)

事業のポイント

地産・地消推進拠点の拡充による地産・地消の着実な推進や、大手交通事業者等と連携した大都市圏への販路拡大などにより、県産農林水産物のさらなる需要拡大を図ります。

【事業概要】

▽ 地産・地消の着実な推進

- ・ 重点需給連携品目を中心とした流通体系の構築・拡充
- ・ 地産・地消推進拠点と連携した取組の強化
- ・ 消費行動の変化に対応した県産農林水産物の売込
- ・ 「ぶちうま！アプリ」を活用した需要拡大、販売促進



▽ 大都市圏に向けた販路拡大

- ・ 県産農林水産物を産地直送する「ぶちうま産直市場」を活用した販路拡大
 - ・ 効果的な大規模展示商談会等への出展
 - ・ 商品特性やターゲット等に応じた売り込み強化
 - ・ 大手交通事業者等と連携した販路開拓
- [実施主体] やまぐちの農林水産物需要拡大協議会
- [負担割合] 県 1/2、団体 1/2



山口県の旬な農林水産物を産地直送券



2 県産農林水産物のさらなる需要拡大

- ① デジタル技術等を活用した地産・地消の取組強化
- ② 大都市圏等への戦略的な販路開拓・拡大

○ やまぐちの農林水産物等魅力発信推進事業〔ぶちうまやまぐち推進課〕 (5,500千円)

事業のポイント

デスティネーションキャンペーン（山口DC）や農業分野の振興に係る連携協定などを契機に県内外への県産農林水産物等のPRに重点的に取り組み、ブランド力の向上や販売力の強化を図ります。

【事業概要】

- ▽ **山口DC等を契機とした販売促進活動**
 - ・ 観光部局等と連携した大都市圏等でのプロモーション活動
 - ・ 旅行会社等と連携した旬の体験ツアー企画実施支援
- ▽ **こだわりの県産農林水産物等の利用拡大**
 - ・ パン屋等事業者を対象とした県産小麦利用技術研修会の開催
 - ・ 新商品開発に向けた取組支援
 - ・ 販売協力店等と協働した販促キャンペーン等

- [実施主体] やまぐちの農林水産物需要拡大協議会
- [負担割合] 県1/2、団体1/2



2 県産農林水産物のさらなる需要拡大

- ① デジタル技術等を活用した地産・地消の取組強化
- ② 大都市圏等への戦略的な販路開拓・拡大

○ 鯨肉消費拡大・くじら文化継承推進事業 [ぶちうまやまぐち推進課・水産振興課] (13,223千円)

事業のポイント

学校での鯨給食支援や消費拡大プロモーション、多様な情報発信等により、さらなる鯨肉の消費拡大と鯨食文化の普及を推進します。

【事業概要】

▽ 学校給食を通じた子どもへの鯨食文化の継承

- ・ 鯨給食促進補助金
[支援対象] 小・中学校、総合支援学校等
[補助回数] 5回/校
- ・ 給食時の鯨食啓発資料の配布



▽ 鯨料理を提供する飲食店の拡大対策

- ・ くじらフェアの開催
[時期] 令和9年2月(予定)
[内容] くじら料理取扱店での飲食により、抽選で鯨加工品等をプレゼント



▽ 鯨肉消費拡大プロモーションの推進

- ・ 鯨肉に関する展示・商談会や量販店等での販促イベントを開催

▽ 捕鯨船の帰港や節分を中心とした情報発信

- ・ テレビ・ラジオ等のメディアを活用した集中的なPR

▽ 捕鯨文化の保存・継承

- ・ 捕鯨・鯨食文化を後世に伝える保存活動の支援
[補助対象] 鯨に関する文化活動を行う団体
[補助率] 1/2
[補助上限] 250千円



2 県産農林水産物のさらなる需要拡大

- ① デジタル技術等を活用した地産・地消の取組強化
- ② 大都市圏等への戦略的な販路開拓・拡大

○ 学校給食県産食材利用拡大事業〔ぶちうまやまぐち推進課〕

(9,774千円)

事業のポイント

学校給食における地産・地消の推進のため、関係団体と協働し、県産農林水産物の利用拡大を図ります。

【事業概要】

▽ 学校給食による地産・地消の推進

- ・ 県産原料100%の米飯、パン、麺（うどん）、豆腐、押麦への定額助成による利用促進
- ・ 県産の野菜や魚など副食の利用促進

[実施主体]

山口県農業協同組合

山口県水産物消費拡大運動推進協議会

[負担割合]

県1/2、団体1/2



2 県産農林水産物のさらなる需要拡大

- ① デジタル技術等を活用した地産・地消の取組強化
- ② 大都市圏等への戦略的な販路開拓・拡大

新

やまぐちの花ひらく需要拡大推進事業〔ぶちうまやまぐち推進課〕

(18,000千円)

事業のポイント

花き産業及び花き文化の振興と活性化を図るため、花き交流拠点を活用した県産花きの新たな需要創出や多様な販路開拓、生産供給体制の強化を一体的に推進します。

【事業概要】

▽ 県内花き交流拠点を活用した花に親しむ文化の醸成

- ・山口DCや2027年国際園芸博覧会の開催に合わせ、花き交流拠点が連携した花き体験イベント等を実施

▽ 県オリジナル花き等の新たな需要創出と多様な販路開拓

- ・山口DCや2027年国際園芸博覧会を契機とした大都市圏向けの新たな需要開拓の実施
- ・県外イベントへの出展や、業務用及び首都圏生花店向けの多様な販路開拓

▽ 県オリジナル花き生産体制の強化

- ・山口県花卉園芸推進協議会と連携したオリジナルユリ原種生産体制の強化
[内容] 原種球根のりん片増殖により球根供給量を増加



2 県産農林水産物のさらなる需要拡大

- ① デジタル技術等を活用した地産・地消の取組強化
- ② 大都市圏等への戦略的な販路開拓・拡大

○ やまぐち県産木材建築物等利用拡大推進事業〔ぶちうまやまぐち推進課〕 (34,192千円)

事業のポイント

住宅・事業用建築物への支援や専門人材の育成、普及啓発等の取組により、民間建築物における新たな県産木材の需要を創出し、さらなる県産木材の利用拡大を推進します。

【事業概要】

▽ 住宅・事業用建築物県産木材利用促進補助金の活用促進

- ・住宅（やまぐち木の家）
一定割合以上の優良県産木材を利用した住宅への補助
[補助額]250千円（8㎡以上）
- ・事業用建築物
県独自の協定制度を締結した施工業者等が建築する事業用建築物への補助
[補助額]1,000千円（CLT 2,000千円）

▽ 中・大規模木造建築を担う人材の育成 設計や施工に係る実践的研修の実施

▽ 県産木材利用促進コーディネーターの配置

- ・建築主等からの相談対応や、施工業者、建築士等とのマッチング、木材利用関係者のネットワーク形成

▽ 県産木材の利用促進に向けた普及啓発

- ・建築主や施工業者を対象としたイベントの実施や情報発信等
[実施主体] 県



2 県産農林水産物のさらなる需要拡大

- ① デジタル技術等を活用した地産・地消の取組強化
- ② 大都市圏等への戦略的な販路開拓・拡大

○ やまぐち林産・建築連携推進事業〔ぶちうまやまぐち推進課〕

(20,000千円)

事業のポイント

木材流通を取り巻く情勢やニーズの変化に対応するため、デジタルツールの活用や製材品の協働出荷による需給調整体制を構築することにより、製材品の県内自給率の向上を図ります。

【事業概要】

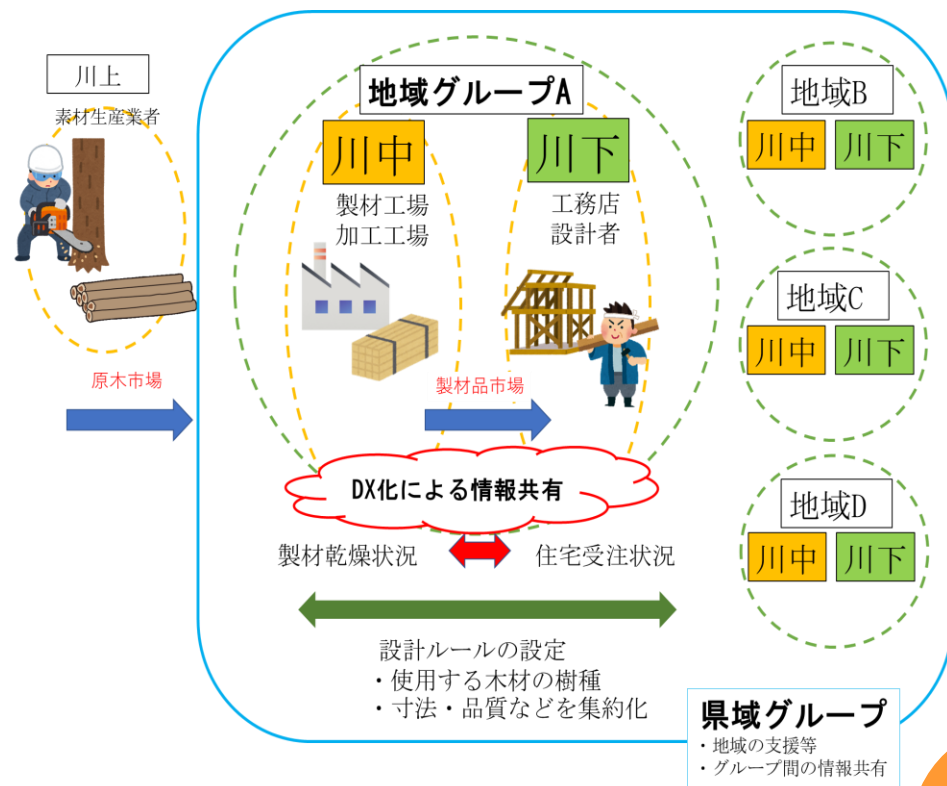
▽ 需給調整組織の構築

- ・ デジタルツールを活用した需給情報の共有
- ・ 課題解決に向けた研修会等の開催
- ・ 大手製材業者による一括した人工乾燥への支援（供給情報の見える化）

[補助額]18,000円/m³



【事業イメージ】



2 県産農林水産物のさらなる需要拡大

- ① デジタル技術等を活用した地産・地消の取組強化
- ② 大都市圏等への戦略的な販路開拓・拡大

新

住宅等リフォーム木材利用促進事業〔ぶちうまやまぐち推進課〕

(60,684千円)

事業のポイント

建築資材の高騰等により低迷する木材需要を喚起するため、県産木材を利用した住宅及び事業用建築物のリフォームを対象に支援します。

【事業概要】

▽ 住宅・事業用建築物への県産木材利用促進補助金

- ・リフォームを対象に、構造材や内装材の県産木材の利用量等に応じて補助

[実施主体]

やまぐち木の家づくり等推進工務店

やまぐち建築物木造推進協定締結者

[補助上限額]

住 宅： 25万円/件

事業用建築物：100万円/件

※補助下限額： 5万円/件

【事業イメージ】



2 県産農林水産物のさらなる需要拡大

- ① デジタル技術等を活用した地産・地消の取組強化
- ② 大都市圏等への戦略的な販路開拓・拡大

新

県産水産物流通コスト支援事業〔ぶちうまやまぐち推進課〕

(28,000千円)

事業のポイント

物価高騰により流通コストが上昇する中、県産水産物の県外への円滑な物流体制を維持するため、生産者団体に対して輸送費の一部を支援します。

【事業概要】

▽ 水産物流通コスト高騰分助成

- ・生産者団体が漁業者と連携して実施する大都市圏への県産水産物の共同出荷にかかる流通コスト上昇分を一部助成

[事業主体] 県

[補助対象] 漁業協同組合

[負担割合] 1/2以内



【事業イメージ】

- ・県産水産物の県外への出荷割合は約5割を占め、トラックによる長距離輸送に依存
- ・物価高騰や物流2024年問題で流通コストが急激に上昇



流通コスト上昇分を一部支援することで円滑な物流体制の維持、強化



2 県産農林水産物のさらなる需要拡大

③ 輸出競争力の強化による海外への販路拡大

拡

やまぐち農林水産物等輸出力強化支援事業〔ぶちうまやまぐち推進課〕

(478,000千円)

事業のポイント

拡大する世界の農林水産物・食品市場の獲得に向け、輸出推進会議の運営や輸出コミュニティを通じた支援、輸出先の多角化に向けた支援等により、県産農林水産物等のさらなる輸出拡大を図ります。

【事業概要】

▽ 輸出推進体制の運営

- ・ 輸出推進会議、輸出コミュニティの運営
[実施主体] 県

▽ 輸出ユニット組成に向けた支援

- ・ 輸出セミナー、事業者交流会等の開催
[実施主体] 県

▽ 輸出ユニットによる実践支援

- ・ 輸出ユニットの取組に応じた支援
[実施主体] 県
[負担割合] 県1/2、事業者1/2

新 輸出先の多角化に向けた支援

- ・ 輸出支援機関の意見等を踏まえた新規市場の調査、新たな販路開拓への支援
[実施主体] 県

▽ 戦略的セールスの実施

- ・ 部独自及び他部局等と連携した県産農林水産物等の販促フェア・PRの実施
[実施主体] 県



▽ 輸出環境の整備支援（国庫補助金）

- ・ 輸出先国等の規制・条件に対応した施設・機械等整備の支援
[実施主体] 事業者
[負担割合] 国1/2、事業者1/2

2 県産農林水産物のさらなる需要拡大

④ 「農林業の知と技の拠点」等を活かした6次産業化・農商工連携の取組強化

○ やまぐち6次産業化・農商工連携推進事業 [ぶちうまやまぐち推進課] (72,755千円)

事業のポイント

県産農林水産物を活かした魅力ある新商品の開発や商品力向上に向けた取組を支援し、農林漁業者等の所得向上や地域の雇用創出を図ります。

【事業概要】

▽ 総合的な支援体制の整備

- ・相談窓口の運営
- ・事業計画策定から商品開発、商品力向上、販路開拓・拡大までを一貫支援
[実施主体] 県 [負担割合] 県10/10

▽ 県補助制度による新商品開発支援

- ・県産農林水産物を主原料とした新商品開発及び施設整備等を支援
[実施主体] 民間団体
[負担割合] 商品開発 県1/3以内



県補助制度審査会

(事業費上限500万円)
施設、機器整備 県3/10以内
(事業費上限2,000万円)

▽ 国補助制度を活用した支援

- ・経営改善の取組支援、人材育成研修の開催
[実施主体] 県 [負担割合] 国10/10
- ・国認定事業者等が取り組む商品開発、施設・機器整備等を支援
[実施主体] 民間団体
[負担割合] 商品開発・販路開拓 国1/2以内
施設、機器整備 国3/10以内

※市町戦略等に基づく取組については国1/2以内

- ・地域の農業所得確保に向けた取組支援
[事業主体] 民間団体 [負担割合] 国10/10

▽ 山口グッと製品の売込強化

- ・販路拡大、商品力向上支援

▽ 市場調査による商品開発支援

- ・土産品等の開発支援



④ 「農林業の知と技の拠点」等を活かした6次産業化・農商工連携の取組強化

○ **地域発！特産品開発力養成事業**〔ぶちうまやまぐち推進課〕

(9,500千円)

事業のポイント

地域の農林水産物を活用した特産品開発に関し、構想着手の段階から多様な人材等が参画するプロジェクト型の支援を行うことにより、特産品の開発支援と、特産品を継続して開発できるネットワークづくりを進めます。

【事業概要】

▽ 地域プロジェクト支援

- ・地域の特色ある農林水産物を活用した特産品開発に関し、構想着手の段階から多様な人材や事業者が参画するプロジェクト型の支援を展開
- ・「農林業の知と技の拠点」連携・交流館のオープンラボを活用した試作を進め、多様な視点や技術を加えた特産品の開発と、特産品を継続して開発できるネットワークづくりを推進

【実施主体】 県

【負担割合】 県10/10



連携・交流館 (オープンラボ)

【事業イメージ】



プロジェクト会議



オープンラボでの試作



加工方法の比較
(冷凍・レトルト・フリーズドライ)



先進地視察